

平成 23 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

[日 時] 平成 23 年 7 月 5 日 (火) 15:00～17:00

[場 所] 琉球大学医学部管理棟 3 階 がんセンター

[参加者] 6 名：上江洲 富夫 (患者)、吉田 祐子 (患者)、三木 雅貴 (患者)、
仲本 剛 (県立宮古病院)、高橋 慶行 (県立中部病院)、
増田 昌人 (琉大病院がんセンター)、

[欠席者] 4 名：具志堅 侃 (沖縄県教育庁 保健体育課 健康体育班)

下地 康斗 (沖縄県健康増進課健康づくり班)、

上原 忠司 (那覇市立病院外科)、長井 裕 (琉大病院産婦人科)、

[陪席者] 1 名：城間 駒生 (琉大病院がんセンター)

【報告内容】

1. 平成 23 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

平成 23 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。

2. 今年度事業計画の進捗状況と内容の見直し

資料 2 に基づき、がんセンター城間より、現在の部会事業の進捗状況について報告があった。進捗として、県内の中高等学校へ、がん検診ポスターコンテストを案内したこと、また、県主催の学校長会で、がんについての一般向け講演者リストを配布したことなどが報告された。また、施策 6-1 である、学校教育へのがん教育の導入については、強制力が掛けられないことなどを考慮し、部会事業から削除すると同時に、新事業としてがんに関するラジオ番組の企画について追加されることが承認された。

3. 宮古地域でのがんに関する普及啓発活動と今後の課題について

県立宮古病院産婦人科医である仲本委員より、宮古地域での活動の現況について、説明があった。宮古地域では、今年 3 月より、市の健康増進課の主催で、子宮頸がん予防ワクチン接種を行っており、その対象が高校一年生であったことや、また市の広報誌 (3 月号) にて、ワクチン予防接種の案内を行い、去った 3 月 4 日に県宮古合同庁舎にて、中学 1 年生から高校 1 年生までの女子児童及び保護者を対象に講演会を行なった事が報告された。現在、病院としての取り組みや対策はされていない状況が伝えられたが、それに対し、増田委員より、月に 1 回開催されている宮古がん患者ゆんたく会に、1 人でも医師の参加が必要であることが伝えられ、今後病院全体として、協力してもらえる様、要望があった。

【協議事項】

1. 今年度事業計画の担当者の選定

今年度事業計画について、各事業の主担当者の選定がおこなわれ、別紙参考資料の通り、担当者（案）が承認された。

2. がん検診啓発ラジオ番組の企画について

資料 4-1, 4-2 に基づき、がん啓発ラジオ番組企画書（案）の内容について、協議された。テーマを「検診」とし、医療制度についても情報提供する事が検討された。また、聴取者への有用な情報を提供できるよう、今後も継続して検討することとなった。番組放送としては、10月を目指し、企画を進める予定である。

3. 学校教育指導者のための講習会開催と教材作成について

学校教育指導者のための講習会の教材内容について、肺がんや子宮頸がんをテーマに作成することが協議されたが、詳細については依頼先と調整したうえで、検討されることとなった。

4. その他

がんセンター栗山より、7月16日（土）、17日（日）に日本ホスピス・在宅ケア研究会がコンベンションセンターで開催されることが報告された。

5. 次回普及啓発部会日程について

第4回普及啓発部会の開始日は9月6日（火）15：00～がんセンターにて開催されることが承認された。